「撮影レポート」 2012.1.22

手法を交換してみた3時間

文:横堀ふみ

9:55　神戸アートビレッジセンター前に集合。20名強の人が列をなして待っている。パクウォンさんとチョヘミさんと合流。右手左手に太鼓などの大きな荷物！稽古場としてよく使われている地下の音楽スタジオへ。

10:10　川崎歩さん合流。それぞれの衣装に着替える。無機質な部屋が一気に華やかに。今回は先ず初めに記念撮影。少々緊張の面持ち。

10:30　川崎さんがパクさんの帽子に目をつける。パクさんの帽子が装着され、帽子のてっぺんについている長い紐を自由自在に操りながら、杖鼓(チャング)を打つ。首をまわすことで紐を操るのではなく、身体の重心を上下させることで、操作していくとのこと。そこから韓国舞踊における身体の操作方法について、話が拡がる。重心を落とすことと身体のエネルギーを丹田に集めることを連動させながら、動きを作っていく。全ての動きは連動し、途切れることはなく、止まっているように見えても実は身体のなかはエネルギーがさざめいているのだ。韓国舞踊のもつ背景を聞きながら目前で動きが展開される、なんとも贅沢な時間。

11:30　あっという間に時間が過ぎ、DANCE BOXへ大移動。

11:50　劇場へ。次は、川崎さんの手法を共有してみることに。まばたきをすることと身体を連動させてみる、足を床に音をたてて踏みおろしたときにイメージしたこと、そのことがどのように他者に伝わるのか、厳かな実験の時間が繰り広げられていく。川崎さんが、パクさんとチョさんの身体を通して見てみたいことが、尽きぬよう。

12:43　シンガポールからチョイ・カファイさんが登場。早朝の便で来日し、ゲストハウスに荷物を置いてきたところ。ロビーでは劇団vintageのメンバーが公演ビデオをチェックし、賑やかなロビーとは対照的に、それでも劇場は粛々としずかに実験は続いている。

13:00　川崎さんの「ぶらウン之助」のアイデア・ノートを囲む。川崎さんの発想の独特さがこのノートを通じてさらに明快に見えてくる。そして、最後に記念撮影。どうもお疲れ様でした！

◎パク ウォン、チョ ヘミ
祖国韓国と日本の架け橋となるべく両国の芸能を融合(遊合)した親舊達チングドゥルのメンバー。今年で創設6年目。

◎川崎歩
映像作家としてアーティストのキャリアを始め、2001年から身体による表現を模索し始める。2011年dBレジデント・アーティスト。

「私が出会ったダンスの達人 第4回　武原はん」　文:大谷燠

1980年代に入った頃、偶然テレビで武原はんの地唄舞「雪」を観ました。その優美さに釘付けになりました。子供の頃から歌舞伎は時折見ていたので、そのなかで踊られる日本舞踊は見ていたのですが、踊りだけを独立して見ることはあまりなく、あってもすぐに飽きてしまっていました。
動きは極端に制御されていて、ほとんど畳半畳のスペースのなかで踊られます。今は尼さんとなった元芸妓さんが、昔の恋を思い出す切々とした感情を表現する踊りで、音は三味線とお琴に唄。そうそう、落語の「たち切れ線香」を聞いた時は、胡弓もありました。
衣装も白地の着物と傘だけのシンプルな色彩。当時、はんさんはすでに80歳前後であったと思いますが、腰の構え、指先の動き、目線の使い方、すべてが優雅で品格があり、小さな動きでも空間全体が震えているような表現でした。<老い>ていくことで獲得できる表現。老いるということは、ある意味コンプレックスだと思います。はんさんが若い頃、大阪の宗右衛門町にあった大和屋で芸妓さんとして踊っていた頃のことを祖母から聞いたことがあります。手が大きく、それを随分気にしていて、いかに手の動きを小さく美しく踊れるのか工夫をされたようです。常に自らのコンプレックスを意識しながら、踊りにおける立ち方の<美>を探究したダンサーであったと思います。ふと、一昨年亡くなった大野一雄さんのことも思い起こしながら、ダンスを続けていくことのためのヒントがはんさんの踊りのなかにあるなーと思います。

「Stadio dB Kobeレポート vol.4」
文:西岡樹里

今、新長田の周辺に住む女性たちに、ひそかなダンスブームがやっていきているよう。毎日の仕事や家事、育児は休めない。でもどんなに忙しくても自分のやりたい事だって諦めない。そんな前向きなエネルギーをキラキラ輝かせているカッコイイ女性たちが、スタジオにたくさん集まってきます。健康のため、美容のため、ダンスの上達のため、と理由は様々ですが、ここならその希望をきっと叶えられるはずです！ダンスが得意な方から運動が苦手な方や初心者の方まで、それぞれに合ったペースで楽しめるクラスをご用意して、皆様をお待ちしています。週に一度、あなたが主役として輝く時間を作ってみてはいかがでしょう！Studio dB Kobeは新しい挑戦を応援しています!!
<大人の女性にもお勧めのクラス>フラダンス　(スロークラス・基礎・初級・中級)/HipHop JAZZ マダムクラス / ピラティス / ズンバ・・・・その他様々なクラスを開講しています。詳しくはStudio dB KobeのHP (http://www.db-dancebox.org/03_studio/) でチェック！

「dBコーディネート事業紹介」
文:橋本麻希

今回ご紹介するのは、DANCE BOX(以下dB)がコーディネートする2月2日に奈良市ならまちセンターにて上演の「鹿の劇場」シリーズ、「からだの発見」という公演です。「エイブルアート・オンステージ」(明治安田生命社会貢献プログラム)から始まった「循環プロジェクト」などで障害のある人とのダンス・美術・音楽によるコラボレーションを行ってきたdB。今回はこれまでの出会いや繋がり、そして経験を活かした公演内容になっています。「鹿の劇場」のためのソロ新作『アルクアシタ』を踊る義足のダンサー森田かずよ。dB大谷もその踊り手としての佇まいを絶賛する安藤共博・佐々木大喜の二人は、砂連尾理(振付)と西川文章(音楽)と世界に一度きりの『ここだけの話』で共演。11年8月の芦屋市立美術博物館でのパフォーマンスと同じメンバーで舞台に立つ奥谷晴美(ダンス)×佐久間新(ダンス)×ジェリー・ゴードン(音楽)の『うまれる』。常に予想外の事故が起こる彼らの即興パフォーマンス。追い詰められた「からだ」でどう次の一手を出すのか？…以上見応えたっぷりの３本立てです！障害のあるなしを超えてただ面白い舞台をつくることを目指します。

DANCE BOXとは

DANCE BOXを直訳すると「踊るハコ」。ハコには、劇場空間としての"ハコ"や、"ハコ"を開けるといろんなダンスが飛び出してくる、そんなイメージを込めています。1996年に、大阪で始動してから、関西、国内各地、そして世界各地の振付家やダンサー、のべ300名以上が踊ってきました。2002年にNPO法人化し、2009年に大阪から新長田/神戸に拠点を移しました。120席の劇場[ArtTheater dB神戸]と、ダンススタジオ[Studio dB KOBE]をベースに、舞台芸術(おもにダンス)を「つくる」「上演する」「出会って何か始まる」現場が、劇場や新長田の街中で、いつも起こっているような状況となることを目指しています。
主な活動の柱は、[1]国や地域を越えて、現代社会で育まれている同時代のダンスを紹介するプログラム、[2]アーティストによる実験・実践・鍛錬の場となるプログラム、[3]アーティストが新長田に滞在しながら、ダンスや演劇等の作品を創作するプログラム、[4]劇場を飛び出して、ダンスのもつ力を発見し、活かし、発信するプログラム、です。

2011年度 主催 / 提携事業

4月	・ArtTheater dB神戸付属 神戸市民劇団vintage 春興行 ・DANCE BOX国際交流基金 地球市民賞 受賞報告会 &Dance Live in KOBE #1
5月	・K-ACDF関連企画　Case Studies #1 アジアのフェスティバル ・竹之内淳志 舞踏公演【共催】
6月	・音遊びの会【提携】 ・日野晃 Real Contact公演【提携】 ・K-ACDF関連企画　「Asia Interactive Research」関西支部 始めましての回
7月	・双子の未亡人 ダンス公演【提携】 ・山田うん 夏の合宿 7日間
7月	・DANCE BOXレジデント・アーティスト 川崎歩
8月	・身体表現講座 夏塾 ・<ぽこぽこアワー>Ran Slavin Sound and Film Live ・新長田から新しいメディアをつくろう
9月	・<UWL>黒子沙菜恵、宮北裕美
10月	・panem et circenses ダンス公演【提携】 ・<ぽこぽこアワー>A. Iter S.essio ・いわき総合高校演劇部神戸公演
11月	・大阪滞在制作シリーズ by ジェコ・シオンポ ・<UWL>南弓子 ・ArtTheater dB神戸付属 神戸市民劇団vintage 秋興行
12月	・モノクローム・サーカス　ダンス公演【提携】
12月	・印度古典舞踊公演【提携】 ・<ぽこぽこアワー>Klang Tanz Vol.4 高瀬アキ×岡登志子 ・鵜鳥神楽奉納舞　in長田神社
1月	・Revival/北村成美 ・DANCE BOXレジデント・アーティスト 浅野泰生
2月	・KOBE-Asia Contemporary Dance Festival #2
3月	・<UWL>山田知美 ・<UWL>上本竜平／AAPA ・dBレジデントアーティスト　成果上演

平成23年度神戸市パートナーシップ活動助成
助成：財団法人 文化・芸術による福武地域振興財団
アサヒビール芸術文化財団

チケット予約 問合せ
Tel: 078-646-7044　Fax: 078-646-7045
Mail: info@db-dancebox.org
Web: http://www.db-dancebox.org/
db Dance Box

企画制作:NPO法人DANCE BOX／ プロデューサー:大谷燠／事務局長:文／ プログラム・ディレクター:横堀ふみ／ スタッフ:己斐緑、西岡樹里、田中幸恵／ 舞台:大田和司、難波麻春／ 照明:三浦あさ子、岸田緑、森田智子、坂本幸子、茂木紀恵／ 音響:秘魔神／ 記録映像:鍛冶川一夫、井上大志／記録写真:阿部綾子／ グラフィック制作:升田学／ WEB制作:内山大／ dB freak 編集・広報:橋本麻希

■NPO DANCE BOX / ArtTheater dB 神戸
〒653-0041 神戸市長田区久保町6丁目1番アスタくにづか4番館4階
TEL:078-646-7044　FAX:078-646-7045

■ Studio dB Kobe
〒653-0037 神戸市長田区大橋町5-3-1 アスタプラザイースト地下1階
TEL:078-742-7220

■ArtTheater dB 神戸へのアクセス
◎JR新長田駅より徒歩8分
>> JR三ノ宮駅から新長田駅まで9分
>> JR大阪駅から新長田駅まで30分
(新快速をご利用、神戸駅にて普通電車に乗換え)
◎地下鉄駒ケ林駅より徒歩3分
大正筋商店街、アスタくにづか4番館4階

KOBE-ASIA Contemporary Dance Festival#02

日時：2月17日(金)～2月25日(土)
会場：**A～E**＝ArtTheater dB神戸／**F～J**＝アスタくにづか 1番館1階
料金：**A**＝前売￥1,500-／当日￥1,800-
C、D＝￥2,000-／当日￥2,500-／学生・シルバー（60歳以上）￥1,800-
E＝前売￥2,500-／当日￥3,000-／学生・シルバー（60歳以上）￥2,300-　※**その他**＝無料
フェスティバル全プログラム通し券＝￥7,000-

Aプログラム<ダンス／前夜祭>
love songs in Kobe!　全体ディレクション：南弓子
日時：2月17日（金）19:30

Bプログラム<トーク＆デモンストレーション>
新長田のダンス事情（仮称）
協働パートナー：宮本博史　出演：神戸奄美会館 藤田教室、神戸ハッピー会 ほか
日時：2月18日（土）、19（日）両日とも13:00～14:00

Cプログラム<ダンス>
①山賀ざくろ+合唱団
②ディック・ウォン（香港）+ヤザキタケシ
日時：2月18日（土）、19日（日）両日とも15:00

Dプログラム<ダンス／新長田滞在制作シリーズ>
①川崎歩
②アジェン・ファティマ・スラエマン
③チョイ・カファイ
日時：2月18日（土）、19日（日）両日とも19:00

Eプログラム<ダンス>
①黒沢美香
②マリオン・ドゥ・クルーズ
日時：2月24（金）、25日（土）両日とも19:00

Fプログラム<トーク>
手塚夏子さんのお話を聴く会
日時：2月25日（土）15:00

Gプログラム<トーク>
マーク・テさんのお話を聴く会
日時：2月25日（土）16:30

<展示プログラム>
Hプログラム　新長田のダンス事情（仮称）
Iプログラム　アジア・インタラクティブ・リサーチ
Jプログラム　チョイ・カファイ
2月17日（金）～2月25日（土）12:00～18:40

〔Under the Worklight〕**上本竜平／ＡＡＰＡ「サーカス」**
日時：3月16日（金）20:00
料金：前売￥1,500-／当日￥1,800-
作・演出：上本竜平、出演：永井美里ほか
会場：ArtTheater dB神戸

dB レジデント・アーティスト 成果上演
日時：3月23日（金）20:00、24日（土）14:00
料金：前売￥1,500-／当日￥1,800-
出演：Stephen Mosblech+Blake Habermann、Ronita Mookerjee
会場：ArtTheater dB神戸

〔Under the Worklight〕**山田知美**
日時：3月28日（水）20:00
料金：￥2,000-
出演：山田知美
会場：ArtTheater dB神戸

ダンス　演劇　音楽　ワークショップ　トーク シンポジウム　展示　TV収録

「アジアで感じたこと。『アジコン２』の始まりはここから。」

文：横堀ふみ

2009年10月から12月にかけて、アジア6か所（インドネシア、タイ、マレーシア、シンガポール、フィリピン、香港）をダンス・シーンのリサーチに廻りました。関西の外にでることで逆に「今いるところ」を見る時間となったのですが、その時に書いた<これから実現したい企画メモ>に、「関西でのコンテンポラリーダンスの文脈、公演を行う場所（新長田）の文脈を踏まえた上での作品を作る。つまり、この作品をDANCE BOXで上演するから意義があり、他の地域に容易に持っていけない作品であること。」とあります。今回のフェスティバルでは、あの時のメモに立ち返りながら、プログラムづくりを行いました。それは、アジアの各地で出会ったアーティストやディレクターが、自分が「今いるところ」に鋭い眼差しを向けながらコミットしていく様々な活動を見たこと、そしてその「今いるところ」への思考を掘り下げることで、逆に各地のいろんな事情と繋がることがあるかもしれないと実感したことから発しています。「アジコン２」を通して、「今いるところ」のどのような地図が描けるのか、楽しみにしています。

マリオン・ドゥ・クルーズ／撮影：Philip Craig

AAPA、次の試みは、4つの空間が、そこにある！？

Under the Worklightには2度目の登場の「AAPA」。前回は、客席エリアとなるフロアもアクティング・エリアとして全面を使用し、様々な生活用品などが、混沌と所狭しと並んだ空間でのパフォーマンスでした。今回のコンセプトは、「複数の空間が並立する形」。フロアとステージ上を個別の空間として分け、それぞれの空間に舞台と客席エリアを用意します。観客は、この４つのスペースを順に廻っていきます。ダンサーと音楽家のパフォーマンスを軸に、すぐ隣で起こっていること、目前で起こっていること、背後で起こっていることが、全て同時進行で並立する試み、ご期待下さい！

ようこそdB！レジデント・プログラムの新たな試み

2012年1月～3月にかけて、新しいプロジェクト「DANCE BOX Resident Program」を始動します。これまで、数々の国際プロジェクトを通して、国内外のアーティストがDANCE BOXに滞在して作品制作を行ってきましたが、今回はじめて海外のアーティストやキュレーターを対象に参加者を公募し、5名を選出することになりました。プログラムの内容としては、①アジア地域のアーティストを対象としたもの（2名/1月～2月に滞在）、②地域にこだわらずアーティストもしくはキュレーターを対象としたもの（2名/3月に滞在）、③神戸と舞鶴の2箇所に滞在しアーティストを対象としたもの（1名/2月～3月に滞在）の3プログラムです。成果上演は、①は「KOBE-Asia Contemporary Dance Festival #2」のDプログラムにて、②③は3月20日に開催します。5名とも関西在住のアーティストとの協働作業を計画しています。彼らが新長田と舞鶴で出会ったことにご期待ください！

「山田知美さんのダンス」

文：大谷燠

山田さんの踊りを始めて観たのは2005年の「踊りに行くぜ！」であった。それは鑑賞したというよりも体験をしたといった感覚であった。延々と髪の毛を振り回すだけの踊り。そのなかで、身体が徐々に高揚し、痙攣が始まる。
インドネシアのバリ島に伝わるサンギャン・ドゥダリの話を思いだした。村が伝染病などの災厄に襲われた時に、少女がトランス状態になるまで踊り続けることで身体に女神を憑依させ、厄払いするという風習である。
元来、ダンスは神に向かって踊られたものである。舞台に身体ひとつ、1本の照明、繰り返し流される唸るような音、山田さんのダンスからは、ダンスのもつ根源的な力が怒涛のように伝わってくる。
さて、今回のUWLでどのような新しい展開があるのか。楽しみである。

とびだせ db

DANCE BOX 劇場外企画！！

予約・問合せ：NPO法人DANCE BOX

ダンスボックスでは、冬の寒さに負けじと、劇場を飛び出してのプログラムも行います。

大阪
大阪滞在制作シリーズ　※映像作品上映
by ジェコ・シオンポ with contact Gonzo
日時：1月14日（土）～2月10日（金）12:00～19:00
会場：アートエリアB１　※月曜休館

奈良
鹿の劇場
「からだの発見」
日時：2月2日(木)　18:00
会場：奈良市ならまちセンター市民ホール
出演：砂連尾理、安藤共博、佐々木大喜、西川文章、奥谷晴美×佐久間新×ジェリー・ゴードン、森田かずよ

広告募集！

発行部数：8,000部
発行回数：2ヶ月に１回
配布先：神戸／関西を中心としたダンス公演や、劇場、ギャラリー、映画館、アートセンター等の文化施設。
新長田では、大正筋商店街、丸五市場、神戸映画資料館など。
広告料：ダンスボックスまでお問い合せ下さい。
広告サイズ各種：大：80×207mm
中：80×137mm
小：80×67mm
問合せ：ダンスボックス
TEL.078-646-7044

神戸・新長田の小ホール<ArtTheater dB 神戸>

レンタル受付開始!!

天井の高い舞台空間、奥行きのあるステージ。
際立つ照明・音響効果。使い方は自由。ダイナミック且つ繊細な表現を引き出す空間です。

用途：ダンス、演劇、音楽、発表会、講演会、上映会、ワークショップ、パーティー等
仕様：舞台 間口／約8m×奥行7.2m、天井高（バトンまで5.6m）、舞台高／0.8m、床面　黒リノリウム
客席フロア／10m×8m、天井高（バトンまで約6m）
客席：雛壇（6段＋最前列）の場合／最大120席
平置の場合／最大150席
料金（10時－22時）：平日42000円、金土日祝63000円（音響・照明機材費及び技術人件費、管理人件費別）

※その他各種割引有。お気軽にお問合わせ下さい。
TEL.078-646-7044（ダンスボックス）